

大分県内遺跡発掘調査概報 6

耶馬溪南部地区	下湯平地区
大迫遺跡(徳原地点)	杉ヶ谷地区
大寒地区(柚野木遺跡)	山浦地区
宮生地地区	野津原西部地区(下原遺跡)
鬼籠地区	都野東部地区
川南地区	都野西部地区
木佐上地区	久住中央地区
塩屋地区	沢水地区
馬場地区	上田北地区
清水地区	馬門・名子山・橘木地区

1998

大分県教育委員会

大分県内遺跡発掘調査概報 6

1998

大分県教育委員会

例 言

1. 本書は、大分県教育委員会が平成9年度国庫補助金を得て実施した大分県内遺跡発掘調査事業の調査概報である。
2. 大分県内遺跡発掘調査事業は、県下で実施される農業基盤整備諸事業及び林道事業に対し事前の分布調査ならびに試掘調査を行うもので、本書はその概要を記す。
3. 調査の実施にあたり大分県農政部、同林業水産部、県内各市町村農業基盤整備関係事業担当課、各市町村教育委員会の協力を得た。
4. 本書の執筆は各調査員があたり、村上久和・宮内克己が編集した。

目 次

I. 序章	1
1. 調査の経過	1
2. 調査団の構成	1
II. 分布調査の概要	2
III. 試掘調査の概要	7
1. 耶馬溪南部地区	7
2. 大迫遺跡（徳原地点）	8
3. 大寒地区（袖野木遺跡）	9
4. 宮生地区	10
5. 鬼篁地区	10
6. 川南地区	11
7. 木佐上地区	11
8. 塩屋地区	12
9. 馬場地区	12
10. 清水地区	13
11. 下湯平地区	13
12. 杉ヶ谷地区	14
13. 山浦地区	14
14. 野津原西部地区（下原遺跡）	15
15. 都野東部地区	16
16. 都野西部地区	17
17. 久住中央地区	18
18. 沢水地区	18
19. 上田北地区	19
20. 馬門・名子山・榎木地区	19
IV. まとめ	20

I. 序章

1. 調査の経過

平成9年度に大分県内で実施された農業基盤整備関係諸事業は240地区に及ぶものであった。圃場整備事業の全体的な減少傾向は変わらないが、50haを超える大規模圃場整備事業が現在進行中である市町村は、安心院町・豊後高田市・久住町・日田市などで、これらの市町村では今後数年間は事業が継続される予定である。このため、農業基盤整備事業と各種開発事業への対応と調整に苦慮している所も多い。また、近年事業が増加している農道開発は、広域農道、農免農道、一般農道、開拓地整備農道、団体営農道、ふるさと農道等の様々の名称のもと計112地区と全体の約半数におよび、試掘調査や本調査を要する箇所もこれに比例し増えている。この他の事業は、畑総、灌漑排水、基幹・防災水利、水渠地整備、魚道整備などがあるが、内陸部で行われる畑総への対応が比較的多い。

これらの事業については、平成9年に県農政部と林業水産部から事前協議があり、県文化課では同年2～3月に市町村教育委員会の協力を得て事業予定地区のすべての分布調査を行った。その結果と取扱いについての回答を関係各機関に通知し、平成9年4月から平成10年3月にかけて開発部局からの依頼を受けて各試掘調査を実施した。試掘調査により埋蔵文化財が確認された地区については、開発部局と地元市町村教育委員会を含む関係各機関の協議が持たれ、工法変更等の保存処置が不可能となった部分は記録保存のため本調査を行った。また、平成10年度事業予定地区についても平成10年1月に協議があり、同年2～3月に分布調査を実施した。

2. 調査団の構成

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|----------------------|
| ・調査主体 | 大分県教育委員会 | ・調査事務 | 河野 孝一(大分県文化課主幹兼管理係長) |
| ・調査委員 | 賀川 光夫(大分県文化財保護審議会会長) | | 荒金 康夫(同 副主幹) |
| ・調査員 | 後藤 一郎(大分県教育庁文化課長) | | 廣末 康久(同 主事) |
| | 田原 基之(同 課長補佐) | | 宮 添 春彦(同 主事) |
| | 秋吉 心良(同 課長補佐) | | |
| | 清水 宗昭(同 主幹兼埋蔵文化財第二課長) | | |
| | 村上 久和(同 副主幹) | | |
| | 渡辺 重昭(同 主査) | | |
| | 宮内 克己(同 主査) | | |
| | 後藤 一重(同 主査) | | |
| | 甲斐 寿義(同 主査) | | |
| | 永井 実(同 主任) | | |
| | 橋本 一彦(直入町教育委員会) | | |
| | 中野 宏一(大銅町教育委員会) | | |
| | 竹野 孝一郎(九重町教育委員会) | | |
| | 宮田 剛(千歳村教育委員会) | | |
| | 永松 みゆき(国東町教育委員会) | | |
| | 藤本 啓二(国東町教育委員会) | | |
| | 松本 啓子(安岐町教育委員会) | | |
| | 椋浦 幸徳(久住町教育委員会) | | |
| | 吉野 公紀(朝地町教育委員会) | | |

II. 分布調査の概要

分布調査は農業基盤整備関係諸事業予定地240地区のすべてについて行い、その実施にあたり県下各市町村教育委員会の協力を得た。

事業予定地と分布調査の結果は右一覧表に示すが、判定の内訳は次のとおりである。

- A 事業予定地が周知遺跡と重なるもの。
- B 分布調査において遺物の散布が認められるもの、または遺跡が存在する可能性が高い地区。
- C わずかであるが遺跡の存在する可能性がある地区。
- D 遺跡の存在する可能性の低い地区。
- E 再度分布調査が必要な地区。

この中でA、Bの地区については試掘調査を、Cは立ち会い調査を各々行った。Eの地区は、分布調査の時点では工事場所が未確認である場合や伐採後でないとは分布調査が不可能な地区であり、実施可能となった段階で調査を行った。



第1図 平成9年度大分県内農業基盤整備事業実施地区

平成10年度農業基盤整備事業予定地区

番号	市町村名	事業名	地区名	分布調査結果
1	中津市	水環境整備事業	下池	谷原 B(立会い)
2	中津市	団体営灌漑排水事業	ノ	B(立会い)
3	中津市	県営灌漑排水事業	大井	D
4	中津市	農林活性化住環境整備事業	諸相	田定 留原 A
5	中津市	団体営農道	宇馬	A
6	三本	広域農道	宇馬	A
7	本耶馬	広域農道	宇馬	B
8	本耶馬	一般農道	鹿	B
9	耶馬	広域農道	耶馬	D
10	耶馬	広域農道	耶馬	D
11	耶馬	一般農道	鼻	D
12	耶馬	一般免農道	耶馬	D
13	耶馬	一般免農道	中	D
14	耶馬	一般圃場整備事業	耶馬	B
15	耶馬	一般免農道	耶馬	D
16	宇佐市	ふるさと農道	宇佐	A
17	宇佐市	ふるさと農道	宇佐	B
18	宇佐市	広域農道	宇佐	B
19	宇佐市	一般農道	宇佐	D
20	宇佐市	一般農道	宇佐	D
21	宇佐市	一般農道	宇佐	D
22	宇佐市	中山間地域総合整備事業	柳	D
23	院内町	一般免農道	鹿	D
24	院内町	一般免農道	鹿	D
25	安安心院	水環境整備事業	日	D
26	安安心院	開拓地整備事業	見	D
27	安安心院	開拓地整備事業	大	B
28	安安心院	農免農道	小	D
29	安安心院	農免農道	尾	D
30	安安心院	担い手育成基盤整備事業	深見	B
31	安安心院	低コスト大圃場整備事業	佐田	B
32	安安心院	低コスト大圃場整備事業	佐田	D
33	安安心院	低コスト大圃場整備事業	安安心院	A
34	安安心院	低コスト大圃場整備事業	安安心院	A
35	安安心院	一般圃場整備事業	新	B
36	豊後高田	水環境整備事業	並	D
37	豊後高田	広域農道	佐	D
38	豊後高田	農免農道	河	D
39	豊後高田	農免農道	河	D
40	豊後高田	農免農道	内	D
41	豊後高田	農免農道	内	D
42	豊後高田	ふるさと農道	佐	D
43	豊後高田	担い手育成基盤整備事業	額	A
44	豊後高田	担い手育成基盤整備事業	額	B
45	豊後高田	担い手育成基盤整備事業	額	B
46	豊後高田	担い手育成基盤整備事業	額	A
47	真玉	緊急農道	荒	B
48	真玉	一般農道	真	D
49	真玉	一般農道	真	D
50	大田	利用権設定特別促進圃場整備事業	大	B
51	大田	農免農道	大	B
52	香々々	農免農道	大	D
53	香々々	農免農道	大	B
54	香々々	農免農道	大	D
55	国東	農免農道	鬼	A
56	国東	農免農道	鬼	B
57	国東	農免農道	鬼	B
58	国東	中山間地域総合整備事業	国東	D
59	武蔵	水環境整備事業	大	D
60	安岐	一般農道	大	D

番号	市町村名	事業名	地区名	分布調査結果
61	安岐町	一般農業	安岐両子	D
62	安岐町	農免農	安岐	D
63	安岐町	担い手育成基盤事業	安岐	B
64	安岐市	農村活性化住環境整備事業	安岐池	A
65	杵築市	緊急急煙	宿北	E
66	杵築市	緊急急煙	杵築	E
67	杵築市	一般農業	杵築尾	D
68	杵築市	開拓地整備事業	杵築	A
69	杵築市	農村活性化住環境整備事業	八中	A
70	杵築市	農免農	津	D
71	杵築市	農免農	杵築	D
72	杵築市	中山間地域総合整備事業	杵築速	E
73	日出町	農免農	中日	D
74	日出町	広域農	日	E
75	日出町	農免農	日	D
76	日出町	農免農	清	B
77	日出町	中山間地域総合整備事業	杵築速	A
78	山香町	水環境整備事業	水	E
79	山香町	水環境整備事業	日	D
80	山香町	広域農	日	D
81	山香町	一般農業	日	D
82	山香町	農免農	長目	B
83	山香町	農免農	杉	B
84	山香町	団体営業農	西北	E
85	山香町	団体営業農	北平	D
86	山香町	一般園場整備事業	山杵	E
87	山香町	中山間地域総合整備事業	杵築速	B
88	大分市	基幹水利施設修繕事業	佐	E
89	大分市	広域農	大分	E
90	大分市	広域農	大分	D
91	津野町	団体営業農	大分	D
92	津野町	広域農	大分	D
93	津野町	一般農業	大分	D
94	津野町	農免農	入	D
95	津原町	利用権設定特別促進園場整備事業	津原西	B
96	津内町	広域農	大分	B
97	津内町	農免農	内湯平	D
98	津内町	農免農	内湯平	D
99	津内町	農免農	長	B
100	湯布院町	農免農	庄内湯平	B
101	佐賀町	農免農	庄内湯平	B
102	佐賀町	農免農	庄内湯平	B
103	佐賀町	一般農業	佐賀	D
104	佐賀町	ふるさと農	佐賀	D
105	佐賀町	中山間地域総合整備事業	木佐	B
106	白杵市	広域農	関白	D
107	白杵市	一般農業	佐	D
108	白杵市	農免農	前	D
109	白杵市	農免農	前	D
110	白杵市	ふるさと農	関白	D
111	白杵市	利用権設定特別促進園場整備事業	関白	B
112	白杵市	一般園場整備事業	吉	D
113	津久見市	広域農	関白	A
114	津久見市	農免農	関白	D
115	津久見市	農免農	関白	D
116	佐伯市	水環境整備事業	元	D
117	佐伯市	水環境整備事業	内	D
118	佐伯市	農免農	南	D
119	佐伯市	農免農	南	E
120	佐伯市	農免農	田	D

番号	市町村名	事業名	地区名	分布調査結果
121	佐伯市	農免農道	堅田	E
122	上浦町	広城農道	南第2	B
123	上浦町	中山間地域総合整備事業	しおさいの町	D
124	上浦町	一般農道	最小勝	B
125	鶴見町	ふるさと農道	小浦中	D
126	米水津村	ふるさと農道	小海浦	D
127	米水津村	中山間地域総合整備事業	小海浦	D
128	蒲江町	ふるさと農道	尾井	D
129	弥生町	団体営農道	旧豊	D
130	弥生町	山村振興等農林漁業特別対策事業	明治野津	D
131	本直川村	広城農道	豊南	D
132	本直川村	広城農道	豊南	D
133	直字日町	団体営農道	重岡	D
134	直字日町	一般農道	重大	B
135	犬飼町	県営農道	大野川中	A
136	犬飼町	県営灌漑排水事業	大野川中	D
137	犬飼町	農免農道	大野川上2	D
138	犬飼町	農免農道	大野川上2	D
139	犬飼町	ふるさと農道	大野川上2	D
140	千歳村	県営農道	大野川中	A
141	千歳村	県営灌漑排水事業	大野川中	A
142	千歳村	農免農道	大野川中	A
143	野津町	広城農道	豊南野津	B
144	野津町	広城農道	豊南野津	D
145	野津町	一般農道	野津	D
146	野津町	一般農道	野津	D
147	野津町	農免農道	野津西部2	D
148	野津町	農免農道	野津西部2	D
149	野津町	ふるさと農道	野津西部2	D
150	三重町	一般農道	野津西部2	B
151	三重町	農免農道	三重中	B
152	三重町	団体営農道	久知良	D
153	三重町	団体営農道	久知良2	D
154	清方町	農免農道	大野川中	D
155	緒方町	広城農道	大野川中	B
156	緒方町	一般農道	大野川中	D
157	緒方町	一般農道	大野川中	A
158	緒方町	団体営農道	中荒	D
159	緒方町	団体営農道	中荒	D
160	緒方町	団体営農道	高野	D
161	緒方町	団体営農道	高野	B
162	緒方町	ふるさと農道	大野川中	A
163	緒方町	担い手育成高農事業	大野川中	A
164	大野町	広城農道	大野川中	D
165	大野町	広城農道	大野川中	B(立会い)
166	大野町	農免農道	大野川中	D
167	大野町	農免農道	大野川中	D
168	大野町	一般農道	大野川中	D
169	朝野地町	農免農道	大野川中	B
170	朝野地町	農免農道	大野川中	A
171	朝野地町	農免農道	大野川中	A
172	竹田市	土地改良総合整備事業	大野川上	E
173	竹田市	県営灌漑排水事業	大野川上	E
174	竹田市	広城農道	大野川上	D
175	竹田市	一般農道	大野川上	D
176	竹田市	一般農道	大野川上	D
177	竹田市	農免農道	大野川上	E
178	竹田市	農免農道	大野川上	D
179	竹田市	農免農道	大野川上	C
179	竹田市	農免農道	大野川上	D
180	竹田市	農免農道	大野川上	A

番号	市町村名	事業名	地区名	分布調査結果
181	竹田市	農免農道	平	田 B
182	竹田市	農免農道	挾	田 A
183	竹田市	団体營農道	一	谷 D
184	竹田市	担い手育成基盤整備事業	重	野 E
185	竹田市	担い手育成基盤整備事業	九	平 B
186	竹田市	担い手育成基盤整備事業	中	中 E
187	萩町	果營煙總	大野川上	流 D
188	萩町	果營煙總		萩 D
189	萩町	果營糞排水事業	萩	萩 D
190	萩町	農免農道	萩	萩 D
191	萩町	農免農道	萩	萩 D
192	萩町	農免農道	萩	萩 D
193	久住町	果營煙總	竹	山 A
194	久住町	果營糞排水事業	九	山 D
195	久住町	担い手育成基盤整備事業	都野東	部 A
196	久住町	担い手育成基盤整備事業	都野西	部 A
197	久住町	担い手育成基盤整備事業	都野中	部 B
198	久住町	中山間地域総合整備事業	山	中 B
199	直入町	水環境整備事業	長	湯 D
200	直入町	一般農道	馬見塚	2 D
201	直入町	一般農道	芦	長 D
202	直入町	ふるさと農道	長	湯 D
203	直入町	担い手育成基盤整備事業	上	田 A
204	玖珠町	農村自然環境整備事業	玖珠	井 D
205	玖珠町	農村自然環境整備事業	宮下	井 D
206	玖珠町	農村自然環境整備事業	北山	田 D
207	玖珠町	広域農道	玖	珠 B
208	玖珠町	農免農道	市	伐 B
209	玖珠町	農免農道	午	王 D
210	玖珠町	農免農道	王	中 D
211	玖珠町	担い手育成基盤整備事業	出	生 A
212	玖重町	農村自然環境整備事業	日	恵 D
213	九九町	広域農道	玖	珠 B
214	九九町	ふるさと農道	玖	珠 D
215	天瀬町	広域農道	日	田 B
216	天瀬町	農免農道	金	ヶ C
217	天瀬町	農免農道	合	塔 C
218	天瀬町	農免農道	中	日 E
219	天瀬町	ふるさと農道	中	日 C
220	天瀬町	担い手育成基盤整備事業	塚	田 B
221	天瀬町	中山間地域総合整備事業	天	瀬 C
222	大山町	広域農道	日	田 D
223	大山町	一般農道	日	久 D
224	大山町	ふるさと農道	日	久 D
225	日出市	果營煙總	三	芳 A
226	日出市	果營煙總	山	田 A
227	日出市	広域農道	日	田 B
228	日出市	農免農道	小	野 D
229	日出市	ふるさと農道	日	田 B
230	日出市	担い手育成基盤整備事業	大	市 A
231	日出市	利用権設定特別促進圃場整備事業	大	市 D
232	日出市	利用権設定特別促進圃場整備事業	池	瀬 A
233	日出市	利用権設定特別促進圃場整備事業	有	田 A
234	日出市	中山間地域総合整備事業	羽	田 A
235	前津江村	一般農道	前	津 D
236	前津江村	農免農道	大	野 D
237	前津江村	中山間地域総合整備事業	前	津 D
238	前津江村	防災水利事業	中	津 D
239	上津江村	農免農道	西	谷 D
240	上津江村	山間地域総合整備事業	津	江 D

Ⅲ. 試掘調査の概要

試掘調査は、分布調査により遺跡の可能性の高いAとBに判定された地区において実施した。その内、中津市、宇佐市、豊後高田市、安心院町、杵築市、緒方町、三重町、竹田市、天瀬町、日田市については各市町村教育委員会が対応し、国東町、安岐町、犬飼町、千歳村、直入町、九重町については各市町村教育委員会埋蔵文化財担当職員に調査員を委嘱して実施した。

大分県文化課が実施した試掘調査の概要は以下のとおりである。

1. 耶馬溪南部地区

- ・所在地 下毛郡耶馬溪町大字宮園
- ・事業名 一般園場整備事業耶馬溪南部
- ・調査対象面積 10ha
- ・調査担当者 永井 実

調査の概要 調査地区は耶馬溪町の中央部、山国川中流域の標高260m前後の河川の氾濫源から自然堤防に位置する。付近には延元(1336～1340)年間に清原氏が建立したという伝承をもつ雲八幡社がある。

調査は園場整備対象地区に重機で2×10mのトレンチを20箇所設定し行った。その結果、表土下10～20cmの所で氾濫源の礫層が検出され、遺構・遺物は発見されなかった。なお、段丘部については平成10年3月に試掘調査を行う予定である。



第2図 耶馬溪南部地区位置図

2. 大迫遺跡(徳原地点)

・所在地	大野郡千歳村大字長峰
・事業名	県営畑地帯総合土地改良事業大野川中央地区
・調査対象面積	10ha
・調査担当者	村上久和・宮田剛

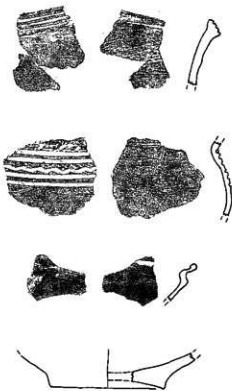
調査の概要 遺跡は大野川の支流茜川左岸の台地上に立地し、現在畑地として利用されている。小支谷を挟んだ高添台地上の高添遺跡群と接し、対岸の台地上には弥生時代の終末の大集落鹿道原遺跡が存在する。昨年度は台地裾部及び斜面にかけての大迫岩ノ下遺跡を調査し、弥生時代後期の竪穴住居跡などが検出されている。

本年度は台地上の広い部分で農業基盤整備のための区画整理事業が予定されたため、10カ所のトレンチによる試掘調査および分布調査を行った。その結果試掘では弥生時代後期と思われる竪穴住居跡、掘立柱建物跡と思われる柱穴、縄文時代包含層などを確認し、その外の地点でも旧石器時代～中・近世まで各時代の遺物が採集されている。このことから密度や時期差はあれ、台地上のほぼ全面に遺跡が展開するようである。図示した遺物は、主としてD地点から出土した縄文時代後期の磨滑縄文土器や晩期の黒色磨研土器である。

所見と取扱い 遺跡の取扱いについて県大野土地改良事業事務所と村農林商工課・教育委員会と協議を行い、一部工法変更を行ったほか(E・F地区)、遺構深度が比較的深い部分については遺跡が破壊されない範囲で工事を行うこととした(D地区)。現標高が高く遺構深度も浅い部分で工事によって削平される部分については本年度内に本調査を行うこととした(A・B・C地区)。



第3図 大迫遺跡位置図



第4図 大迫遺跡出土土器

3. 大寒地区(柚野木遺跡)^{おおそ}

- ・所在地 大野郡大飼町大字大寒
- ・事業名 県営畑地帯総合土壌改良事業(大野川中央地区)
- ・調査対象面積 約4,000㎡
- ・調査担当者 中野 宏一

調査の概要 大寒・柚野木遺跡は、大野川本流の東側に広がる大寒台地の南東部に位置する。遺跡の周辺には旧石器時代の終末の細石刃と細石核が多量に出土した市ノ久保、松山岡遺跡や、弥生時代中期から古墳時代初頃にかけての住居跡や、中国の後漢時代に作られた昭明鏡が出土した高松遺跡が存在する。

今回試掘の対象となったのは、大寒・柚野木遺跡の南縁部分に当たる標高120mの小高い山手で、標高の高いところから北方向に向かって、計13ヶ所の試掘トレンチを設定して掘り下げた。

試掘の結果、1トレンチから8トレンチまでは、高台に位置しているせいか表土(耕作土)が薄く、地表下20cm程で遺構検出面であるローム層が検出され、1・2・3・5・6・7・8の7ヶ所のトレンチから弥生時代終末から古墳初頃にかけての柱穴及び住居跡と考えられる遺構が確認された。9トレンチから13トレンチにかけては土層の堆積が厚く、約1mから2mでローム層に至った。遺構及び遺物は検出されなかった。

所見と取扱い 今回の調査では地形が北方向に向かって傾斜しており、高い位置に設定したトレンチでしか遺構が確認出来なかった。今後の調査では盛り土処理になる9～13トレンチの箇所を除き、本調査を行う予定である。



第5図 大寒・柚野木遺跡位置図



大寒・柚野木遺構検出状況(1)



大寒・柚野木遺構検出状況(2)

4. 宮生地区

- ・所在地 大野郡朝地町大字宮生字芝返
- ・事業名 農免農道整備事業宮生地区
- ・調査対象面積 6 a (0.06ha)
- ・調査担当者 村上久和・吉野公紀

調査の概要 工事対象地区は朝地町の南を東西に走る山稜上の東端に位置する。事前の分布調査の結果から、試掘調査を実施した。設定した調査区内にトレンチを入れ遺構、遺物の確認を行い、その結果、溝2条、円形土壇4基、方形土壇2基を検出した。しかし、遺物を全く伴わなかったこともあり、時期の特定はできなかった。

所見と取扱い 遺構が確認された区域について、担当部局(大野地方振興局耕地課)と協議した結果、工法変更が困難であることから、本調査を実施した。



第6図 宮生地区位置図

5. 鬼籠地区(鬼籠五輪塔群)

- ・所在地 東国東郡国見町大字鬼籠
- ・事業名 団体営農道整備事業鬼籠地区
- ・調査対象面積 100㎡
- ・調査担当者 甲斐寿義

調査の概要 国見町の西部を流れる竹田津川の支流鬼籠川のの上流右岸、谷部の中腹に調査地区は位置する。工事予定地内に中世から近世初頭の五輪塔5基が存在していたため試掘調査を実施することとなった。

その結果、五輪塔群は原位置を保っていないが、溝状遺構や縄文時代と思われる石蔵などが検出された。

所見と取扱い 関係各機関とその取扱いについて協議したが現状保存は不可能となり、国見町教育委員会が主体となり本調査を実施した。



第7図 鬼籠地区位置図

6. 川南地区

- ・所在地 東国東郡国東町大字安国寺
- ・事業名 一般圃場整備事業国東川南地区
- ・調査対象面積 1 ha
- ・調査担当者 永松 みゆき・藤本 啓二

調査の概要 工事対象地は国東町の中央部を東西に貫流する田深川下流域の丘陵上に位置する。標高は約19～33mで、北西約600mの所に弥生時代後期から古墳時代の国史跡安国寺集落遺跡が位置する。

調査は工事対象地のうち削平を受ける部分に地形等の現状を勘察し計16箇所のトレンチを設定し行った。検出された遺構は柱穴状のPitが敷基で、遺物も中世後半と思われる土師器環・皿の破片が若干出土したのみである。

所見と取扱 工事対象地は僅かに認められるPit等から中世後半の集落の縁辺部であった可能性を持つが、大半が丘陵の緩斜面とその隣接部に相当するため近現代の耕作などにより旧地形を全面的に削平され、遺跡は残存していない。



第8図 川南地区位置図

7. 木佐上地区

- ・所在地 北海道郡佐賀開町大字木佐上
- ・事業名 中山間地域総合整備事業
- ・調査対象面積 6 ha
- ・調査担当者 甲斐 寿義

調査の概要 調査対象地区は、佐賀開町の西端に位置し、小猫川中流左岸に広がる水田地帯である。調査範囲内の2箇所にトレンチを5つ設定し、重機および作業員による調査を行った結果、古代・中世の遺物が出土した遺構は確認できなかった。遺物はローリングが激しく、川の氾濫等による二次堆積と思われる。



第9図 木佐上地区位置図

8. 塩屋地区

- ・所在地 東国東郡安岐町大字塩屋
- ・事業名 県営住環境整備事業（塩屋第5工区：荒巻）
- ・調査対象面積 1.9ha
- ・調査担当者 松本啓子

調査の概要 安岐平野のほぼ中央を東西に走る豊後高田安岐線を約1km西へ進んだ南側に今回調査した荒巻が位置する。

調査対象区の周辺には荒巻古墳やアネド古墳群が点在し、また安岐城陥落の折、追っ手から逃げきれずこの地で打ち首にされた城主の娘の墓と伝えられる石碑がある。

試掘調査は調査対象区約1.9haにトレンチを14本入れた結果、土器片がわずかに出土し、遺構は柱穴を1つ確認しただけである。

所見と取扱い 遺構・遺物は上記以外攪乱や過去の整備事業等により検出できず、問題ないと判断した。



第10図 塩屋地区位置図

9. 馬場地区

- ・所在地 東国東郡安岐町大字馬場
- ・事業名 県営團場整備事業安岐地区馬場工区
- ・調査対象面積 5.5ha
- ・調査担当者 松本啓子

調査の概要 安岐川下流域右岸に位置する馬場地区は、昭和36年の災害によりこの地区一帯がかなりダメージを受けてることが予想される場所である。調査対象区にトレンチを数十本入れた結果、遺構・遺物は認められなかった。

所見と取扱い 安岐川沿ということもあり、河川の氾濫等により遺跡が存在するものとは思われず、工事にあたり問題ないと判断した。



第11図 馬場地区位置図

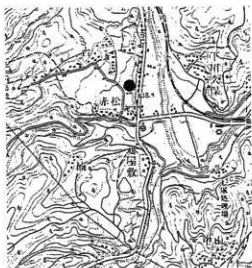
10. 清水地区

- ・所在地 速見郡日出町大字藤原
- ・事業名 農免農道清水地区
- ・調査対象面積 3500㎡
- ・調査担当者 村上久和

調査の概要 調査地区は日出町の北部、標高40～60mの丘陵上に位置する。その付近には弥生時代の周知遺跡である赤松遺跡が存在する。このため、調査は遺構の存在が予想される箇所に重機を用い2×10mのトレンチを数箇所設定し行った。

その結果、地表下30cmの所で幅2m余りの溝状遺構と遺物包含層を検出した。

所見と取扱い 遺構が検出された部分については別枠速見地方振興局耕地課及び日出町教育委員会と協議し、記録保存の本調査を実施することとなった。



第12図 清水地区位置図

11. 下湯平地区

- ・所在地 大分郡湯布院町大字下湯平
- ・事業名 農免農道庄内湯平3期
- ・調査対象面積 280㎡
- ・調査担当者 清水宗昭

調査の概要 調査地区は湯布院町の東部、庄内町と接する大分川右岸の河岸段丘に位置する。その一帯は、標高310～320m余りの傾斜地に棚田が形成されている。

調査は、重機により路線内に数箇所のトレンチを設定し実施したが、問題となる遺物・遺構は全く確認されなかった。従って、工事は予定どおりに行われることとなった。



第13図 下湯平地区位置図

12. 杉ヶ谷地区

- ・所在地 速見郡山香町大字久木野
- ・事業名 農免農道杉ヶ谷地区
- ・調査対象面積 370㎡
- ・調査担当者 村上久和

調査の概要 山香町の東部にある日指ダムの近辺、標高約207mの丘陵上に調査対象地区は位置する。調査は、遺構の存在が予想される地点に重機によりトレンチを数箇所設定し行った。

その結果、遺構・遺物は全く検出されず、工事の実施に問題ないと判断した。



第14図 杉ヶ谷地区位置図

13. 山浦地区

- ・所在地 速見郡山香町大字山浦
- ・事業名 一般園場整備事業山浦地区
- ・調査対象面積 8.7ha
- ・調査担当者 村上久和

調査の概要 調査地点は山香町の北東部、山蔵川流域の標高220m余りの盆地状の地形に位置する。調査は、工事予定地に重機により2×10mのトレンチを約60箇所設定して実施した。その結果、表土下約30cmに水田層3面とその下位に礫層と粘土層を検出した。水田層は近世以降の狭地直しによるものと考えられるが、その他に遺物や遺構は発見されなかった。



第15図 山浦地区位置図

14. 野津原西部地区(下原遺跡)

- ・所在地 大分県野津原町大字下原
- ・事業名 利用権設定特別促進圃場整備事業
- ・調査対象面積 7 ha
- ・調査担当者 甲斐寿義

調査の概要 対象地区は、大分川支流の七瀬川左岸の河岸段丘上に位置し、平成8年度に本調査が行われた下原遺跡に隣接する。工事予定地内に14箇所の特レンチを設定し、重機と作業員による調査を行った。

その結果、河岸段丘の下位(下原遺跡の隣接地)に設定した5箇所の特レンチからは縄文時代後期前葉の土器が多数出土し、これに伴うと思われる遺構が検出された。

段丘の上部に設定した8箇所の特レンチからは、部分的に後世の削平を受けているものの、多数の柱穴や土壌が検出された。柱穴からの遺物から中世の遺構と思われる。

所見と取扱い 事業予定地の広範囲に縄文時代から中世に至る複合遺跡の存在が確認され、その取扱いについては現在協議中である。



第16図 野津原西部地区位置図



下原遺跡遺構検出状況



同遺物検出状況

15. 都野東部地区

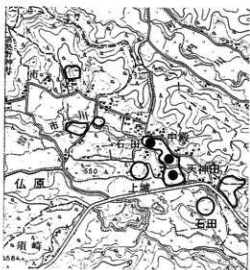
- ・所在地 直入郡久住町大字有氏
- ・事業名 県営担い手育成基盤整備事業都野東部地区
- ・調査対象面積 22.3ha
- ・調査担当者 宮内克己・樺浦幸徳

調査の概要 調査対象地区は町の東部を流れる市川・七里田川など大分川源流の小河川の流域である。その一画に景行天皇の土蜘蛛征討ののりの行宮に由来する宮処野神社があり、近年の調査によりその近辺では弥生～古墳時代と古代の遺跡が多数発見されるだけでなく、当地域のイメージを一変させる遺跡が存在する。古墳時代前期の大規模集落後である原田遺跡、これとほぼ平行する時期に営まれた仏原千人塚古墳群、7世紀後葉の石田遺跡や奈良～平安前期の市遺跡群が代表として上げられるが、最近では中世の遺跡にも注目されるものが認められつつある。

本事業の4年度目にあたり次第に工事面積は縮小してきたが、新たにその存在が確認された遺跡が2つ、昨年度確認され今年度本調査に至った遺跡が1箇所あり、遺跡の集中度はさらに高まった。

石田遺跡の北側、西から東に延びる丘陵の先端部分に天神田遺跡（中世）が、谷を隔てた北側に中殿遺跡A・B地区（古代～中世）が存在することが判明した。また、天神田遺跡の西側に位置する上城遺跡では鎌倉時代を中心とする時期の建物群約30棟とこれを区画する溝等の遺構が本調査によって検出された。

所見と取扱い 天神田遺跡と中殿遺跡A・B地区は古代から中世における当地域の様相を更に明らかなものとする上で重要であり、その取扱いについては現在協議中である。



第7図 都野東部地区位置図



都野東部地区調査状況

16. 都野西部地区

- ・所在地 直入郡久住町大字有氏
- ・事業名 県営担い手育成基盤整備事業都野西部地区
- ・調査対象面積 53ha
- ・調査担当者 宮内 克己・樺浦 幸徳

調査の概要 本地区は都野東部地区の西側に隣接し、東部地区と同様に新発見の遺跡やその実態が初めて判明した周知遺跡が多く認められる。遺跡は丘陵部や尾根部分に立地し、谷部分にはほとんど存在しない。

試掘調査を行った有氏工区の東側の丘陵上に平成8年度本調査の原田遺跡があり、その西側には湯上古墳が、西南部に本年度調査を実施した小城原遺跡が存在し、弥生から古墳時代の遺跡集中地区としてその重要性は高い。

有氏工区では湯上古墳の北側に隣接する位置に中原遺跡が、その北の丘陵部分に大塚遺跡が存在することが明らかとなった。中原遺跡からは古墳時代前期に属すると思われる方形周溝墓のほか中世の遺構が確認された。大塚遺跡では弥生時代の溝等が検出され、原田遺跡との関連が注目された。

所見と取扱い 小城原遺跡からは100基を越える竪穴遺構と10数基の木棺墓および20数棟の中世の掘立柱建物群が検出された。住居跡は弥生時代中期から古墳時代前期の幅をもつが、中心となるのは弥生後期であり、原田遺跡の前段階の拠点集落にあたる。中原遺跡の方形周溝墓は、湯上古墳に先立つ有力個人墓の存在を示し、古墳時代前期の首長墓である仏原千人塚古墳群と併せ当該期の社会構造を示す資料として重要である。

また、大塚遺跡の取扱いについては現在協議中である。



第18図 都野西部地区位置図



都野西部地区・小城原遺跡全景

17. 久住中央地区

- ・所在地 直入郡久住町大字有氏・久住
- ・事業名 県営担い手育成基盤整備事業久住中央地区
- ・調査対象面積 31ha
- ・調査担当者 宮内克己・櫻浦幸徳

調査の概要 都野西部地区の南西部に隣接する一帯が本事業の対象地にあたり、ほぼ中央を東西方向に走る小倉峠は大分川と大野川の分水嶺である。

今年度の調査地区は、北から板切工区、石原工区、青柳工区の3箇所に別れ、いずれも重機による試掘調査を実施した。トレンチは合計73箇所に及ぶが、遺構・遺物はほぼ皆無であった。

所見と取扱い 石原工区の南側の丘陵には弥生から古墳時代の石原遺跡が周知されており、埋蔵文化財の存在が予想されたが、対象地の広い範囲は氾濫源となっており、その他の地区も含め工事の実施に問題ないことが判明した。



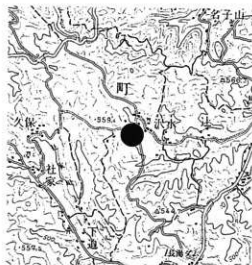
第19図 久住中央地区位置図

18. 沢水地区

- ・所在地 直入郡直入町大字長湯
- ・事業名 県営一般農道整備事業馬見塚2期地区
- ・調査対象面積 490㎡
- ・調査担当者 橋本一彦

調査の概要 馬門川南岸の河岸段丘上に位置する。一般農道馬見塚2期工事に伴い工事対象地区内にトレンチを5ヵ所設定し行った。平成7年度に調査対象地区の北西側で本調査が行われ、中世墓等が検出されているため遺跡の存在する可能性も予想された。

しかし調査の結果、若干の柱穴と幅50cm、深さ20cmの溝状遺構を検出したが、遺物の出土はなく工事に支障はないと判断した。



第20図 沢水地区位置図

19. 上田北地区

- ・所在地 直入郡直入町大字上田北
- ・事業名 県営担い手育成基盤整備事業上田北地区
- ・調査対象面積 17.4ha
- ・調査担当者 橋本一彦

調査の概要 平成7年度からの継続事業である。調査対象地区は芹川の支流である二又瀬川周辺に位置する。調査は削平を受ける部分を重機により、水田の広さに応じてトレンチを設定し行った。

調査対象区の北西部分は近年の造成で大量の礫が埋められていた。また他の部分についても礫層が広がっている箇所が多く見受けられた。

調査の結果、調査区全面にわたり遺構、遺物とも確認されず工事が行われても問題ないと判断した。



第21図 上田北地区位置図

20. 馬門・名子山・橘木地区

- ・所在地 直入郡直入町大字長湯・上田北
- ・事業名 直入庄内区画整理工事馬門、名子山、橘木団地
- ・調査対象面積 37.9ha
- ・調査担当者 橋本一彦

調査の概要 区画整理事業に伴う調査対象地区は3カ所である。試掘調査は削平を受ける部分を中心に重機により水田の広さに応じてトレンチを任意で設定し行った。

馬門地区は馬門川の周辺に位置しており、川に近く地形が谷になっている。

名子山地区は大谷川の河岸段丘、一部台地上に位置している。

橘木地区は大部分が斜面や谷になっており、平地の部分は後世に近年にかなり造成を受けていた。

調査の結果、遺構、遺物とも検出されず工事が行われても問題ないと判断した。



第22図 馬門・名子山・橘木地区位置図

IV. まとめ

平成9年度の農業基盤整備関係諸事業は240地区において計画・実施されたが、その数字はここ数年来の圃場整備事業の減少とこれに反比例し増えている各種農道事業をそのまま反映している。また、最近では山間部における小規模な圃場整備事業や水環境整備事業などインフラ整備の事業増加も時代の変化と言えよう。

各試掘調査と遺跡の存在が確認された関係各機関の協議の結果、本調査を実施することとなったのは十数地区に及ぶが、2箇所以上で長期間の調査を行ったものが3市町村ある。また、これらの調査に対応し新たに専門職員を配置した市町村もあり、文化財保護の体制はより強まりつつある。しかし一方では問題もないわけではない。

現在、大分県下において大規模圃場整備事業が行われているのは安心院町、豊後高田市、竹田市、久住町、日田市などの内陸部の盆地や山間地と国東半島の一部である。これらの市町村では専門の担当者が配置されているが、50haを越す規模で工事が予定されている所では、農業基盤整備諸事業のみならず各種開発事業の調整や埋蔵文化財の保存・調査に苦慮している部分も少なくない。県文化課では指導・調整や市町村への応援を可能な限り行い、通年施工の増加など比較的緩やかな事業の実施に開発部局側の協力も得ているが、市町村によっては更に保護体制の強化が望まれる所もある。しかし、単年度に多量の事業量が集中する場合などは、今後もどのような保護・調査体制がより良いものであるか関係各機関で検討し実施する必要がある。

報 告 抄 録

ふりがな	おおくまのちのちのちのちのちのちのち							
書名	大分県内遺跡発掘調査概報							
シリーズ名	大分県内遺跡発掘調査概報 6							
編著者名	村上 久和、宮内 克己							
編集機関	大分県教育委員会							
所在地	〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号							
発行年月日	1998年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コ ー ド 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査の原因
大迫遺跡ほか						1997.4.9 ┆ 1998.3.31		農業基盤整備事業に伴う分布及び試掘調査
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
大迫遺跡 鬼竜五輪塔群 下原遺跡 天神田遺跡 中殿遺跡 大塚遺跡		縄文 ┆ 中世						

大分県内遺跡発掘調査概報 6

1998年3月31日

発行 大分県教育委員会
印刷 明治印刷株式会社
